

平成 27 年度三重県厚生事業団事業報告書

1 いなば園の自立経営

三重県いなば園成人施設は、障害者総合支援法サービス体系で利用者本位の支援を行った。成人施設への入所者は 8 名で、児童施設から 1 名、在宅から 7 名であった。退所者は 8 名で、在宅へ 1 名、他施設へ 3 名、病院等へ 4 名であった。

2 三重県身体障害者総合福祉センターの指定管理

三重県身体障害者総合福祉センターを、指定管理者として管理運営を行った。障害者支援施設部門は、障害者総合支援法サービス体系で支援を行い、入所利用者の地域移行者は 17 名で、退所者総数に対する割合（地域移行率）は 65.4% であった。

3 第四次中期経営計画の取組み

(1) マネジメントシステムの展開

「バランススコアカード」に沿って、理事長のマネジメントシートを用いて、数値目標の設定、情報の共有化、対話による事業実施などの手法により、法人理念に基づいた経営を行った。

(2) 利用者、職員アンケートの実施

現状を正確に把握、認識するため、利用者並びに家族、及び職員に対し意識調査をアンケート形式で行った。

対 象	実施日	回 答 数
いなば園 利用者嗜好調査	平成 27 年 10 月	146/146 名(100%) ※職員代筆含
いなば園 利用者アンケート	平成 27 年 12 月	146/146 名(100%) ※職員代筆含
いなば園 保護者アンケート	平成 27 年 12 月 ～平成 28 年 1 月	95/147 名(64.6%)
身障センター 利用者アンケート	平成 27 年 8 月 平成 28 年 2 月	101/141 件(71.6%) 95/132 件(72.0%)
事業団職員アンケート	平成 27 年 12 月	159/172 名(92.4%)

(3) 人材育成の取組み

平成 27 年度採用職員を対象に 5 月 13 日に「新入職員研修」、10 月 29 日に「採用後 6 か月研修」を、採用後 10 年の職員を対象に 9 月 18 日に「中堅職員研修」を実施した。また、新たに管理職に任用された職員を対象に 7 月 1 日に「課長・寮長昇格時研修」「副寮長昇格時研修」を実施した。

人材育成、能力開発等を目的に、人事考課制度を実施した。

4 法人の運営

(1) 理事会の開催

法人の事業報告、収支決算及び事業計画、予算等について審議するため理事会を開催した。

	開催期日	審議内容
第93回理事会	平成27年5月26日	・平成26年度事業報告及び決算(案)について ・役員・評議員の選任について
第94回理事会	平成28年3月24日	・定款の変更(案)について ・第五次中期経営計画(案)について ・諸規程の改正(案)について ・平成27年度補正予算(案)について ・平成28年度事業計画(案)および予算(案)について

(2) 評議員会の開催

	開催期日	審議内容
平成27年度 第1回評議員会	平成27年5月26日	・平成26年度事業報告及び決算(案)について ・役員を選任について
平成27年度 第2回評議員会	平成28年3月24日	・定款の変更(案)について ・第五次中期経営計画(案)について ・諸規程の改正(案)について ・平成27年度補正予算(案)について ・平成28年度事業計画(案)および予算(案)について

(3) 監査

事業執行状況の監査が行われた。

監査実施者	期日	監査内容
法人監事	平成27年5月21日	平成26年度事業及び決算監査
外部監査	平成27年9月7、8、9日	平成26年度決算監査

(4) 経営会議

法人の具体的経営方針を決定するため、理事長及び常勤理事による経営会議を年間32回開催した。

(5) 施設の経営

①稼働率

	種別	指定事業別認可定員	稼働率	指定（開設）年月日
いなば園 (昭和52年開設)	施設入所支援事業所	すぎのき寮 40名 かしのき寮 40名 もみのき寮 40名	97.6%	平成20年3月1日
	生活介護事業所			
	一体型共同生活援助事業所	ドリームハウス 4名 レインボーハウス 4名 ひだまりはうす 8名 こもれびはうす 7名	96.9%	平成18年10月1日
	就労継続B型事業所	工房いなば 20名	93.0%	平成19年4月1日
	生活介護事業所	工房いなば 11名	91.8%	平成21年4月1日
	福祉型障害児入所施設	30名	91.5%	平成24年4月1日
	多機能事業所 プリズム	児童発達支援事業 放課後デイサービス 合わせて10名	84.2%	平成23年5月1日
身障センター (昭和60年開設)	身体障害者福祉センターA型	—	貸出施設 年間延利用者 33,519人	昭和60年4月1日
	施設入所支援事業所	40名	87.5%	平成18年10月1日
	生活介護事業所	12名	60.4%	
	機能訓練事業所	29名	110.1%	
	生活訓練事業所	12名	43.4%	
	就労移行事業所	7名	44.9%	

②みえ福祉第三者評価事業

いなば園かしのき寮が、みえ福祉第三者評価事業の評価を受け、課題の改善に取り組んだ。

(6) 主な各種事業

①三重県知的障がい者セーフティネット機能事業（いなば園）

知的障がい者の緊急時に生活の確保等を目的とする事業を三重県から受託し、緊急入所ニーズに応えられる体制を整えた。（利用対象 0名）

②障害児等療育相談支援事業（いなば園）

在宅の知的障がい児等の地域生活支援を目的として、津市、松阪市に障がい者相談支援センターに相談支援員が駐在し、専門機関と連携した相談、情報提供、各種サービスの利用調整を行った。

（相談支援対象者 津市 399名 松阪市 141名）

③障害者就業・生活支援事業（いなば園）

松阪・多気地域障がい者総合相談センター「マーベル」に相談支援員が駐

在し、圏域内の障がい者等からの相談に応じ、必要な助言、支援を行った。
(相談支援対象者 530 名)

④津市障がい者相談支援事業 (いなば園)

津市の障害者福祉の向上、社会参加を促進するため、津市障がい者相談支援センターに相談支援員が駐在し、訪問及び外来等による相談支援や関係機関との連絡調整を行った。(相談支援対象者 186 名)

⑤伊賀市障がい者相談支援事業 (いなば園)

伊賀市から障がい者(児)のケアマネジメント及び相談支援業務を受託し、職員 1 名が専任した。(相談支援対象者 250 名)

⑥三重県障がい者就労安心事業 (いなば園)

一般就労を希望する施設利用者に、施設利用契約終了後も就労促進及び就労定着化を図ることを目的に、相談や交流活動等の支援を実施した。(支援対象者 4 人)

⑦三重県重度障がい者等地域移行支援事業 (いなば園)

知的障がい児施設に入所している加齢児の地域移行推進のためのネットワーク構築、支援の場の確保等を目的とする事業を三重県から受託し、支援を行った。(支援対象者 2 名)

⑧三重県高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業
(身体障害者総合福祉センター)

高次脳機能障がい者及びその家族の地域生活を支援することを目的に、相談支援、関係機関との支援ネットワークの充実及び支援関係者を対象とした研修を開催した。また、高次脳機能障がい者の雇用促進を目的に、雇用優良事業所等表彰を実施した。(相談支援対象者 182 名)

⑨三重県障がい者スポーツ推進事業 (身体障害者総合福祉センター)

平成 33 年に開催予定の全国障害者スポーツ大会三重大会に向け、障がい者スポーツ選手・団体の育成・強化・競技力向上、指導員・審判員等養成、障がい者スポーツの普及啓発等を行った。

また、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて強化合宿、体験会を実施した。

⑩三重県障がい者スポーツ運営事業 (身体障害者総合福祉センター)

県内で活動している障がい者スポーツ団体に運営費用等を補助し、競技団体の活動を育成し、競技大会参加選手の強化を推進した。